

○会長挨拶

今日は土曜授業で、学習発表会だった。CSの土曜開催は2回目。校長挨拶でも話があったが、6年はこれまでの学習の積み重ねが発表につながった。その通りだと思う。コロナの第八波も心配される。インフルエンザも心配。引き続き、学校の教育活動が継続されるように願っている。支援もしていきたい。

○校長挨拶

無事に学習発表会が行うことができた。参観ありがとうございました。子供たちは堂々と発表することができた。子供にとってよい機会になった。子供たちが様々なところで表彰を受けている。子供の活躍を紹介したいと思い朝会で紹介し、表彰している。脚光を浴びる機会を増やしていきたい。土曜日のCS開催ですが、よろしく願います。

○体力調査の結果について（資料配布）

- ・測定種目について、各種目で求められる能力について
- ・各学年の課題と対策について

会長：資料もあるので、確認してください。

土志田：素早さを高める運動とはどのような運動なのか。また、どのように行っているのか。

⇒ラダートレーニング等がある。準備運動や体を温めるときに行っている。

内藤：昔から子供はボールを投げたりとったりすることをやっていたが、今は行っていないからわからないこともあると思う。能力の前に経験があるかないかが大事だと思う。

⇒1年の体育では鉄棒を触ったことがない子もいる。年々増えている感じがする。少し教え、声掛けするだけで、子供はどんどん取り組むようになっていく。

蕨南：逆上がりは何年でできるようになるのか。

⇒高学年になるとできなくなる技もある。中学年でできるようになるのが望ましい。

青木：児童が多いので、校庭使用が難しいのではないかと。公園でも鉄棒をしている姿を見ない。危ないと保護者が思っているのかもしれない。運動は学習にもつながる。仲間と遊ぶことで、分担等もできるようになると思う。高いところから降りることでわかることもあると思う。教員が運動させることも大変だと思う。工夫も大変だと思う。

⇒休み時間の学年使用も決まっているので、子供たちの運動量の確保が難しくなっている。

内藤：昔は、相撲を取ったり、ボールを投げたりしていた。周りの環境でも変わっていくと思う。

青木：小さい頃は本能的に動きたいと思うのでは、と思う。うまく指導に生かしてほしい。

会長：増築のために制限が増えるので、授業や休み時間、家庭も含め、様々な動きができるよう基本的な動きを学校で工夫して指導してほしい。

蕨南：学校もそうだが、子供が遊べる公園を整備することも大切だと思う。

高野：高井戸公園は広いが、幼稚園児がよく遊んでいる。大きな子供たちは遊んでいない。

蕨南：親が付き添えないために、遊べないこともあると思う。

青木：昔は、子供同士で遊んでいたと思う。今はゲームもあるので、なかなか外で遊ばないのかもしれない。

高野：室内ゲームが多く、外では遊べないのかもしれない。

会長：今は、体を通じて、徳・知を育んでいくことができるので、体力は基本として大事だと思う。学校だけではなく、家庭・地域全体で培っていくこと必要だと思う。

○学力調査の結果について

- ・資料配布と説明（今年度の学力調査の特徴・東京都の学力調査の内容について）

土志田：学習の進め方に関する調査の中で、5年生が全項目低い何か理由があるのか。

⇒学習に関しての捉え方に違いがあるようにも感じたので、このような結果がでたのではと分析している。6

年は受験が関係して回答が変わることも考えられる。学年の特性として考えられる。

土志田：たまたま高井戸小はそういうことが影響したのか。

⇒学年初めの調査だったので、このような結果になった。今、調査すると結果は違うかもしれない。

学んだことを伝えようという意欲は出てきたと思う。

会長：受験の割合はどのくらいなのか。

⇒4割ぐらい。6年前より増えている。

青木：なんのために学習するかと考えると、理由は難しいと思う。社会人になっていわれるのが「自分からやれる社員」。児童も同じだと思う。興味あることに詳しい児童もいる。好きなことはやるという児童もいると思う。高学年だと自分でできると思うが、低学年だと難しいと思う。

⇒みんなで取り組むということも必要。低学年だと「〇〇できてすごいね」というとやる気になる。学んだことを生かすようにしていく。小学校段階で、みんなで同じことに取り組むことも必要だと考えている。

齋藤：ロイロノートでは、他の児童の活動も分かると思う。

⇒ロイロノートは使いやすいので、活用している教員も多い。

齋藤：履歴を確認することで、子供の学びも支援できると思う。

⇒教員の技術も追いついていく必要がある。

会長：主体的な学びとして、子供たちの学び合い、発想、気付きをロイロで見合い合うことが大事という話が以前もあったと思うが、高井戸小の取組は進んでいるのか。

⇒高井戸小は、進んでいると思う。子供たちからも他の児童の意見を見たいということもある。教員が取組を進めている。

土志田：まだ活用しきれていないこともあるのか。機能などで他にないがあるのか。

⇒承認システムがなく「いいね」などはできない。学年や学校全体のクラスを設定ができず、使えない。

土志田：ロイロノートはハード面の問題もあるのか。

⇒機能は向上してきているが、制限しているほうが良い面もある。

会長：小学校は6年間あるので、中長期的に伸ばすことができると思う。分析した課題を、解決していくことが大切。

⇒教員は取り組んでいきたいと思っている。

土志田：意識調査の一部で、「ほめられる」の結果で、学年が進むにつれて減っているが、ほめることで自己肯定感が下がることにつながるのではないか。外発的な刺激が効果ないと捉えることができるような気がする。

⇒やったことと無関係なほめ方ではなく、したことについて価値付け、承認することが大事だと思う。

土志田：親の態度として子供との交流で、「ほめる」ことを続けてよいのか。

⇒Iメッセージも続けると、子供はそれを求めるようになる。個に応じて、対応していくことが必要だと思う。

蕨南：質問項目で「ごほうび」と「褒める」を一緒の項目にしているが、よいのか。

⇒子供が書きやすい表現で項目は書かれている。

青木：人からみられるのが恥ずかしいという気持ちも高学年ではあると思う。

⇒結果を見て、各家庭で活用してほしい。

会長：大人になっても褒められることはうれしいこと。子供たちの主体的な行動を評価してあげることが大切。

齋藤：個人のシートのみ配布なのか。

⇒個人のシートを配布している。

会長：ここから、また改善を進めてほしい。

○地域・関係団体から

内藤：11月13日（日）清掃工場見学についての作文・ポスターの表彰式を実施した。高井戸小・高東小・富士見丘小が参加。高井戸小は作文とポスターを出した。4年の担任に感謝。これからも続けていきたい。

蕨南：学校支援本部では、2学期、学校の支援となる活動を継続していた。キャリア教育で6年生に仕事の紹介等を行った。

会長：4年生で「詩の暗唱」授業を行い、現役のアナウンサーが学校にきて、指導を受けた。

校長：担任がとても喜んでいた。

○CS次回は、12月22日（木）午後6時30分～校長室にて